


平成 27 年 3 月 13 日

新宿区福祉部介護保険課長 殿

受審事業所 小規模多機能ホーム さくら
代 表 者 中村 慎一 

サービス評価結果に基づく改善取り組み計画書について

下記の通り改善課題及び具体的な取り組み計画をまとめたので、報告します。

記

1 改善課題

- ① 事業所では一日の時間を「静」と「動」に分けており、「動」の時間帯においては「月間アクティビティ表」に基づき計画的に活動の提供を行なっている。この事に対し、「静」の時間帯における過ごし方については明確にされていない。
- ② 重度化や終末期の受け入れのための職員教育が不足している。
- ③ 事業計画について、現行の書式では事業所が持つ現状や課題、また必要とされる改善への方針が見えず、全体像が分かりづらい構成となっている。

2 具体的な取り組み

- ① 職員が関わり会話を楽しんだり、利用者の能力を活かして手伝いをお願いしたり、手工芸などの趣味を活かした活動に取り組んで頂いたり、といった個別のアクティビティを提供する事で、ご利用者が暇を持て余す時間を短縮化していく。
- ② 来年度の研修計画の中に「ターミナルケアについて」の項目を複数回導入する。
- ③ 事業計画書の書式（部門目標シート）について、見直しを行なう。

3 評価機関に対する感想

今回担当して頂いた評価機関については、小規模多機能型居宅介護の内容をよくご存知の機関であった為、指摘やアドバイスの一つ一つがとても参考になった。

4 事業所からの意見等

事業所の現状について、客観的な認識を得ると共に、自らも振り返りができる良い機会となった。

以上